

発行 佐久市有機農業研究協議会(発行責任者:伊澤 敏)

【構成】佐久市・JA佐久浅間・佐久総合病院・佐久市農業委員会臼田地区委員会

〈事務局〉長野県佐久市臼田787 (一財)農村保健研修センター内 TEL 0267-82-5800 FAX 0267-82-5801 URL <http://nouson-rhtc.jp/>

活動の紹介は

佐久市有機農業

検索



萩原紀行先生講演会 非効率な農業の経営方法

11月22日、のらくら農場代表の萩原紀行先生による講演会を佐久総合病院 農村保健教育ホールにて開催し、約50名の方にご参加いただきました。

のらくら農場の根本的特性は「非効率」で、その4大要因は有機栽培、中山間地、多品目栽培、厳寒地です。栽培期間が短い条件下で、「好きなようにやろう!」を農業経営の基本として、12項目に及ぶルールに則って実践されています。

特に印象的だったのは、有機JAS認証を取得せずに「栄養価と味の追求にシフトする」です。のらくら農場の野菜が栄養価・味部門のコンテストで多数の栄誉に輝き、食の業界で高く評価されているのもうなずけます。

さらに、「怒ること禁止」のルールを通じて経営効率を上げる発想は、一般の経営者では考えられないような斬新なアイデアで、若くて優秀な従業員が育っていることも納得でした。

参加者からは「論理的かつ情熱的な農業の粋を越えた話が参考になった」「萩原先生の講演を再度計画してほしい」といった声が聞かれましたので、有機栽培の技術的なお話などもお聞きする機会を設けたいと思いました。



2024年度 有機栽培農園利用者募集

はじめての方でも大丈夫!



この農園は、農薬や化学肥料を使わない実践的な有機農業を普及することを目的とし、今年で開設28年になります。「自分で育てた野菜の味は別格」といった声も聞かれます。新鮮で、おいしい野菜を育ててみませんか。

場 所 当協議会 実験農場内 ((一財)農村保健研修センター西側)

募集区画 15区画(1区画約35㎡) ※原則1戸1区画

使用料 1区画 年間3,000円(税込) ※使用料納入後に途中解約した場合の使用料の返金はありません。

使用期間 2024年4月3日(水)から11月末日

申込期間 3月4日(月)から14日(木)の平日9時から17時まで

(一財)農村保健研修センター窓口にて利用上の規則を確認し、申込用紙に必要事項を記入してお申込みください。結果は後日お知らせいたします。

※新規申込者を優先し、応募多数の場合は抽選により決定いたします。

開園式 4月3日(水)午前10時 実験農場管理棟にて(区画割抽選、利用上の説明、農園の栽培指導など)

問い合わせ (一財)農村保健研修センター 電話 0267-82-5800

学習会のご案内 ー土のpHと養分を測りましょうー

要申込

皆さんが持ち寄った畑やハウスの土を測定し、その結果から土づくりや肥料の使い方などアドバイスします



開催日時 4月5日(金) 集合 9時 (終了は12時を予定しています)

会場 当協議会 実験農場管理棟
(一財) 農村保健研修センター西側

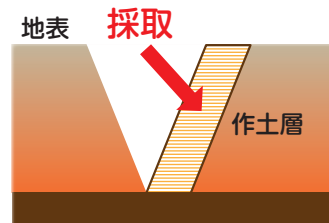
参加費 土壌1試料200円
(一人2つまで、当日持参)

申込先 (一財) 農村保健研修センター
平日9時から17時まで
Tel0267-82-5800
※ 20土壌試料で締切ります

担当講師 長野県佐久地域振興局 和田慎太郎
佐久農業農村支援センター 井出 明
当協議会・実験農場長

事前に測定したい土を採り、よく乾燥し、ふるいにかけて茶碗一杯程度お持ちください。

採土方法



地表のごみ等を取り除き、上下の量が等しくなるよう深さ10cm～15cmで柱状に採る。
1つのほ場で4～5カ所から採土し1つにまとめる。

令和5年度 佐久市農業祭に出展



11月11日、佐久市農業祭が駒場公園で5年ぶりに開催されました。

当日は佐久市の友好都市による物産展や交通安全啓発イベントが同時開催され、大勢の方が来場されました。

当協議会では、実験農場で栽培した野菜(キャベツ・白菜・大根・人参・長ネギ・サツマイモ・かぶ・ポップコーン・ジャガイモ・水菜)10品目を持って出展しました。今年の野菜は見栄えもよく、無農薬、無化学肥料の安全、安心な野菜という点が大変好評で、持ち込んだ野菜はすべて完売しました。また、実験農場で使用している佐久市堆肥製産センターの堆肥1袋(1kg入)を100袋用意し、野菜を購入いただいた方にお配りしました。

これを機会に有機農業や有機栽培に関心を持っていただき、当協議会についても知っていただくきっかけになればと思います。

